



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1（清水事務所）

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

平成 30 年度行政評価

「ねたきり高齢者看護手当」「新・カワセミ商品券」抜本的見直し

昨年12月に公表された「日野市行政評価結果」で、ねたきり高齢者看護手当や新・カワセミ商品券、車いすタクシー運行事業補助金、太陽光発電システム等設置補助金、剪定枝・チップ化業務委託に対して「抜本的見直し」の評価が下されました。

また、中央福祉センターや湯沢福祉センターで実施している入浴事業については「休止・廃止」の評価になっています。

在宅介護を支える「ねたきり高齢者看護手当

〔ねたきり高齢者看護手当〕は昭和45年から始まった事業で、自宅で65歳以上のねたきり高齢者（要介護4・5）を90日以上、継続して看護している方に月額5千円を支給する制度です。

今回の行政評価では、介護保険制度が定着したなかで「本事業の在り方は当然変化していなければならなかった」「今後も対象者増が見込まれる中、所得要件の導入など、対象の重点化の検討が必要」「現金給付施策の見直しをしている中で、本制度も速やかに見直し作業に入ってほしい」との意見が記されています。

抜本的見直し理由の一つとして、介護保険制度が定着したことがあげられています。

たしかに、介護保険制度が始まり様々なサービスが選べるようになりました。しか

し、サービスを受けるには「利用料」が必要になり、生活援助をはじめ様々なサービスが介護保険から外されて自己負担となり、お金がなければ必要な介護を受けることができない状況が生まれています。

また、一定の年金をもらっている方でも、利用料が2～3割負担に引き上げられたため、利用抑制がおきたり、家族の生活が圧迫されるといった事態が起きています。

特養ホームなどの入所施設の待機者もいまだ解消されていません。

こうしたなかで、がんばって在宅介護を続ける方々への支援を安易に廃止・削減すべきではありません。

市内共通商品券「新・カワセミ商品券」も抜本的見直し

行政評価で抜本的見直しとされた「日野市内共通商品券事業補助金」は、市内共通商品券「新・カワセミ商品券」に係る事業を実施する団体に対して資金的な援助をするもので、日野市商工会に商品券の10%プレミアム分（1千万円分）と事業費を補助しています。

新・カワセミ商品券は、すべての店で使えるA券（500円×12枚）と、中小加盟店でのみ利用可能なB券（500円×12枚）が1セット（1万円）で販売されます。

1セットで千円お得ということで、販売日すると即完売するようです。

新・カワセミ商品券事業は、市外に消費者が流出することを防ぎ（市が1千万円のプレミアム分を負担すると、1億1千万円

分の消費が市内で約束される）、市内の商業活性化のために実施されるもので、発行を機会に個人店や商店会などが、イベントなどを組んで、商業振興を図ることが最大の目的です。

市内の商業は、お祭りなどをはじめとして、地域コミュニティの中心的な役割を担い、地域の活性化に向けて積極的な活動を行ってきました。しかし、通販などの普及や後継者不足等、商店会組織の存続が難しくなっています。

H24年に日野市はカワセミ商品券を休止したことがあります。しかし、年度と週で補正予算を組んで復活させました。こうした経過を踏まえると、「効果があかぬ事業である」の一言で切り捨ててはならないと思います。

畑だよい・・・

12月末で、畑の契約がいったん終了。畑を片付けたら、ほうれん草、小松菜、ルッコラ、ネギやダイコンなどで、4つのコンテナがいっぱいになりました。

この後、堆肥をまいて、耕運機をかけて改めて区割りをして、新年度の農園が始まります。

今年はどんな作柄になるか楽しみです。



農業体験農園の隣のハウスでは樽トマトの収穫が始まりました。ひとかかえもある樽に、ヤシガラをつめて栽培します。土を使わないので土壌消毒の必要がなく連作も可能なのが特徴です。甘くておいしいトマトでした。